

議会だより

No.76 2012
10・24

たからほ

〈宮崎県高千穂町議会〉



キャー！トンネルだー。おじ〜（天岩戸保育園児・トロッコ列車にて）

決算審査に270件の質疑 2・3

安定的な診療体制 8

尖閣問題の意見書提出 7

一般質問に7議員が登壇 10～13

平成23年度一般会計決算審査に270件の質疑

9月定例会

第3回定例会（平成23年度決算議会）が9月3日から24日までの会期で開かれ、報告2件、決算議案9件、補正予算7件、条例改正1件など合計19件を審査し、全ての議案を全会一致で可決しました。

一般会計については、9月6日の本会議において、議長を除く13人の議員で決算特別委員会を設置し、審査しました。

9月7日、10日、11日の3日間の質疑の数は、14課・施設で270件に上りました。



ほくたちのためにガンバッてね（天岩戸保育園児）

決算審査 議会からの意見

総務課

●消防常備化に伴い、消防団員の確保はもちろんだが、団員の士気が低下しないよう消防行政に努めること。

●公の施設トイレについては、洋式化に取り組むこと。

財政課

●町有地の有償及び無償貸付など、町有財産の管理を徹底し、売買については、町民にも広く周知すること。

税務課

●徴収率アップは評価できるが、徴収については不納欠損の処理などを十分考慮し、不公平感のないよう努力すること。

企画観光課

●温泉など観光施設については、早急に経営改善を図ること。

農林振興課

●補助事業が多岐に渡り交付されているが、最良の事業となるよう効果検証すること。

●鬼八の蔵については早急に運営方針及び経営計画の再検討をすること。

農地整備課

●国、県の有利な事業を確保し、更なる農地保全に努めること。

建設課

●町道の単独改良にもよく取り組んでいる。今後とも補助事業等を積極的に取り入れ、社会資本の整備に努めること。

町民生活課

●合併浄化槽の設置補助金の増額はもちろん、町独自の補助金を含め、普及率アップに努めること。

●不法投棄については町民の意識向上を図り、しない、させないの啓蒙活動に積極的に取り組むこと。

福祉保険課

●保育料など、未収金対応については、保証人を複数にして早めの対応を取り、収納率アップに努めること。

●サロン、サテライトデイサービスについては、更なるサービスの充実に取り組むこと。

●災害時要援護者システムについては、消防防災係と連携し、内容を充実させ、福祉の支援に繋がるよう努力すること。

平成23年度 会計別決算状況（単位：円（万円未満 四捨五入））

会計名	歳入総額	歳出総額	基金積立金	翌年度繰越額
一般会計	78億3977万	77億616万	1億0000万	3361万
特別会計	国保事業	21億1662万	0万	5768万
	簡易水道事業	7024万	0万	108万
	下水道事業	1億8971万	0万	705万
	西臼杵地域介護認定審査会	713万	0万	55万
	介護保険事業	13億383万	0万	7169万
	介護サービス事業	5968万	0万	411万
	後期高齢者医療特別会計	1億5104万	0万	238万
病院事業	収益的	19億5481万	19億5187万	
	資本的	1477万	2億8760万	
水道事業	収益的	1億4619万	1億2915万	
	資本的	155万	5607万	

決算の概要

平成23年度高千穂町一般会計の収支決算は、歳入総額78億3976万8千円、歳出総額77億616万1千円で、差し引き1億3360万7千円の黒字決算となりました。うち1億円を基金積立金に、3360万7千円を翌年度に繰り越します。歳入は、地方交付税と国庫支出金で、平成23年

るよう努力すること。

保健福祉総合センター

●予防接種事業、特定検診については、周知活動の強化を図り、接種率受診率を上げること。

ときわ園

●施設運営の経費節減と時間外費用の削減を図るとともに、生きがいのある施設づくりに努めること。

教育委員会

●予算執行残が多く、不要額が見受けられる。早急な補正対応などで町民から要望がある教育施設改修や備品導入に対応ができる体制を図ること。

●育英資金の滞納者については、返済通知の強化を図り、保証人などを含め、厳しい対応策を講じ、収納アップに努めること。

平成23年度高千穂町一般会計の収支決算は、歳入総額78億3976万8千円、歳出総額77億616万1千円で、差し引き1億3360万7千円の黒字決算となりました。

度歳入総額の57・2%を占めています。町税は9億8607万（対前年度1・2%増）です。

歳出は、光ケーブル整備事業などの終了、道整備事業、林道整備事業などの減により、投資的経費の普通建設事業費が対前年度比74・5%の減額となりました。



より良い議会を目指してよ（三田井地区）

議会報告会を開催

高千穂町議会基本条例に基づき、7月3日から27日にかけて、町内5会場で第3回議会報告会を開催しました。

今回は、地区外の議員による運営を行い、参加された町民のみなさん、17人と様々な意見交換を行いました。報告会でいただいた町行政に対する要望・提言は、全員協議会で共有し報告書を作成、関係課への周知と対応について、町長へ文書で要請を行いました。

主な提言・要望

- 町営住宅の建て替えは南平団地は、老朽化しているが、建て替えの計画はないのか。
- 人口の歯止めや押方小の運営対策にもなる。
- 小さな予算の確保
- スポーツ教室の予算が削減され、地域のスポーツ教室や公民館の健康推進にも影響が出はじめた。
- 小さな予算の確保に気を配ってほしい。
- 地域住民との話し合い
- 高千穂小学校の建て替え事業については、工事関係の騒音や児童の登下校、地元住民の通行について、十分な説明会を行って欲しい。
- 安心な老後を
- 小さな福祉施設やグループホームが多くできたが、西臼杵には入所待ちの人がたくさんいる。
- 温泉下の空き地を活用し、高齢者が安心して老後を暮らせる大型福祉施設を作って欲しい。
- 介護福祉施設を
- 岩戸には介護福祉施設がないが、将来は施設に頼らざるを得ない状況である。
- 地区内に介護施設はできないものか。
- がまだせ市場の活性化
- 市場は商工会の事務所があるので目につきにくい。
- 将来、たばこ耕作組合が空けばそこに移転してもらおうと良いのではないか。
- 検討して市場の活性化に活かして欲しい。

町民からの要望・提言

区分	件数	内容
農 林 業	10	がまだせ市場5、もくみ3、有害獣1、堆肥舎1
農地整備	1	基盤整備1
商工観光	4	新たな観光2、観光駐車場1、温泉1
建設	5	道路4、町営住宅1
上下水道	2	簡易水道統合1、上水道整備1
消防・防災	5	消防常備化1、自主防災組織1、無線放送3
教 育	4	高千穂小建設2、小中学校併設2
福祉	3	介護施設1、保育時間の延長1、福祉ゾーンの活用1
医療	1	ドクターヘリ1
財政	5	財政状況2、町債1、小さな予算の確保1、衛生組合負担金1
議会	6	報告会4、財政と人口の議論1、定数1
その他	4	ときわ園跡地活用1、ガレキ処理1、公民館の助成1、結婚問題1
計	50	

これが聞きてえ～

農産組合 に 土地売却

【質疑】 補正予算で、1449万9千円の収入理由は。

【答弁】 高千穂温泉横の土地を、当初計画ではオートキャンプ場を予定していたが、農産組合から西臼杵地区の拠点施設として使用したいとの申し出があり売却した。

小水力発電 の 調査費

【質疑】 農地整備課の、小水力発電の委託料100万円の内容は。

【答弁】 用水路を利用した小水力発電事業で、1年間を通した水量などの調査委託料である。現在、黒口、徳別当、押方、水ヶ崎の各土地改良区から要望があり、調査を行う。



新しい建物出来るげな（温水プール横）

店舗跡 購入 理由

【質疑】 高千穂大橋駐車場横の店舗跡を、今回1020万円で購入の理由は。

【答弁】 土地は国定公園内の町観光地であり、購入後は、高千穂、日之影、五ヶ瀬、椎葉、諸塚の各町村で、フォレストピア高千穂郷ツーリズム協会事務所を予定している。協会は、都会への圏域PRと特産品の販売強化を目的としている。



屋敷は立派ばい（高千穂大橋横）

新規就農 は高千穂 何人

【質疑】 新規就農組合員支援事業補助金が、補正されている事業内容は。

【答弁】 新規就農者に、5年間に年150万円を支給し、地域リーダーを育成する事業であり、町内で7人、1050万円になる。

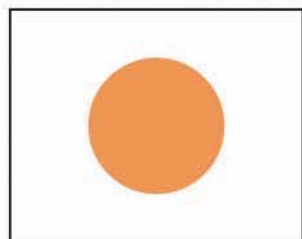
農産加工 支援事業

【質疑】 売上1000万円を目指す農産加工モデル事業の説明を。

【答弁】 農産物生産者と特産品加工など、町内4グループに整備機器などの支援を行う。梅の実会（河内）、あさぎり加工（上岩戸）、山の学校（向山）、佐藤農産（上野）で、184万9千円である。



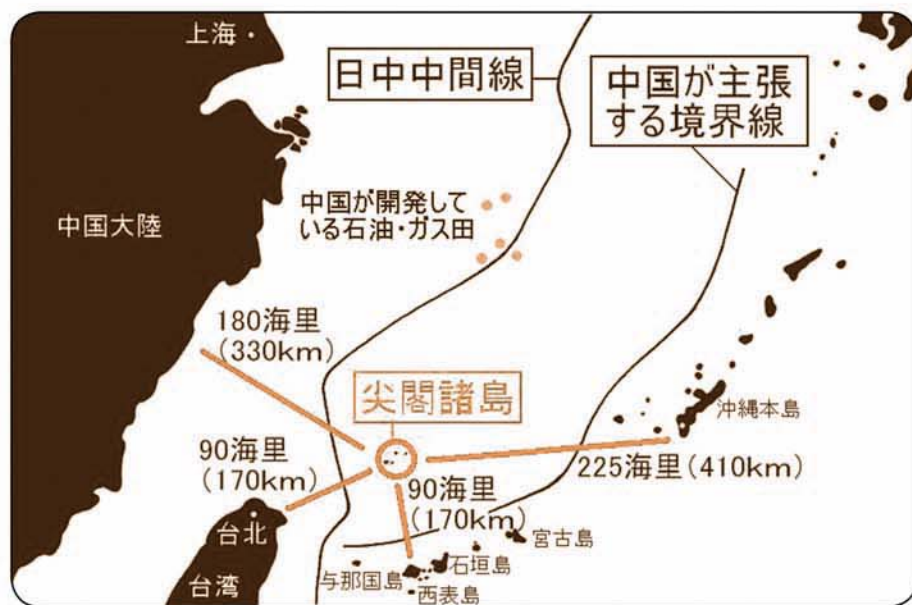
若者がおらんのう～（浅ヶ部）



尖閣諸島付近の領海進入及び 尖閣諸島不法上陸に関する意見書

国へ提出

請願
陳情



境をはっきりさすじゃねの

地方の意見を聞くノダ



意見書の内容

8月15日、香港の民間団体である「保釣行動委員会」の船が、我が国の領海に進入し、乗組員の一部が、尖閣諸島の魚釣島に不法上陸した。

この行為に対する一連の政府対応は、基本姿勢の欠如が招いたものであると言わざるを得ない。

よって、高千穂町議会は我が国の国益を断固として守るために以下の項目の実行を国会及び政府に強く求める。

①今後、同様の事案があった場合、出入国管理法及び難民認定法第65条を適用することなく厳正に刑事手続きを進めること。

また、中国に対し、断固たる抗議を行うとともに

②尖閣諸島及びその海域の警備体制・方針を抜本的に見直すとともに、領土・領海を守るために必要な法制度の整備、関係機関との連携、装備・人員の手当等の拡充を急ぐこと。

また、南西諸島防衛を強化する施策を実行すること。

③施設の整備などを通じて尖閣諸島の有人化と海の有効活用を図ること。

また、島及び海域の安定的な維持管理を強化するために尖閣諸島の国有化に向けた取り組みを早急に進めること。

④尖閣諸島は歴史的・国際法的にも我が国固有の領土であり、そもそも領有権の問題は存在しないという明確な事実を国際社会に毅然と示す外交努力を行うこと。

以上の内容で国に意見書を提出しました。

簡水下水 特別会計 余力を持った事業運営を

給水人口は5723人
(119人の減)・年間
有収水量56万969立方

施設の状況

簡易水道組合への補助事業として、11組合23件と小規模及び飲料水供給施設2組合2件の事業に対し、総額590万円が補助されました。

また、緊急雇用創出事業を活用し町内水道水の基礎調査や水道施設の環境整備に総額1335万7000円が支出されています。



しばらくはせわねえばい

簡易水道事業

経(2万7216立方分の減)で、給水人口減少により、使用料及び手数料収入が140万5105円の減です。

(決算額はp2に記載)

委員会の意見

組合の負担軽減と安定した水道水供給に努められたことは評価に値するところであり、今後も簡易水道組合への負担軽減に繋がる事業の展開を要望します。

委員全員賛成で認定



長期的な運営計画を

水道事業

総収益で1億4619万2582円、総費用1億2847万7062円、差引の経常利益は1771万5520円ですが、特別損失67万7885円を計上し、当年度純利益は1703万7635円(前年度比219万9343円の減)です。

また、総収益のうち給水収益は1億3939万

経営状況

給水人口6387人、給水件数3281人、年間配水量142万2581立方分(1万9739立法分の減)、年間有収水量96万8660立法分(2万2203立法分の減)です。

施設の状況

町道改良工事に合わせて折原線配水管布設替え及び配水管の増口径工事や、中学校通線配水管の老朽管布設替えなど、安定給水と漏水防止対策に積極的に取り組んでいます。

委員会の意見

本町の水道事業において、人口の減少は経済の活力を低下させるだけでなく、事業収益にも大きな影響を及ぼすことが予想されます。

長期的な見地と計画により、余力を持った事業運営を要望します。

委員全員賛成で認定



えらいな施設じゃの高千穂浄化センター(上原)

下水道事業

下水道への接続対象人口4190人・接続人口3705人で接続率の前年度比は2・44%の増、管路延長は41・67キロメートルです。

(決算額はp2に記載)

事業の概要

委員会の意見

使用料金の未収や受益者負担金の滞納については、時が経つほど困難が予想されます。

事業に対する理解を求めるための話し合いを持ち、分割してでも納入していただけるよう努力されることを要望します。

委員全員賛成で認定

町立病院 安定的な診療体制

平成23年度の診療体制は、常勤医師が外科3人、内科3人、整形外科2人、小児科、眼科各1人の合計10人です。

委員会の意見

平成23年12月末より、診療体制を構築すること、住民からの信頼と安心して診療が受けられる体制づくりに積極的に取り組む、今後とも経営の健全化に努力されたいと、医師確保の在り方も再検討し、確保に向けて最大の努力をされるよう強く要望しました。

委員全員賛成で認定

経営は黒字 294万円

事業収益19億5481万円、事業費用19億5187万円であり、純利益294万円を計上し黒字に転換しています。

前年度純損失4559万円に比べて4853万

医療費は増加

1人当たり34万3854円

国保

国民健康保険特別会計決算は、被保険者4477人、世帯数2410戸、歳入総額21億1662万円、歳出総額20億5894万円です。

収支は、5768万円の剰余金を出し24年度へ繰り越しています。

財政運営の状況は、23年度実質収支5768万円から22年度繰越金6403万円を差し引くと、23年度実質収支は635万円の赤字です。

委員会の意見

国保事業運営はますま

医療費は年々増加しており、一世帯当たりの給付額は64万1163円、一人当たりの給付額は34万3854円で、県内で高い方から6番目です。金管理に努めることを要望しました。

委員全員賛成で認定

サービスの充実

介護保険特別会計

委員会の意見

介護を必要とする高齢者は年々増加しており、重症化・長期化することが予想されます。

介護に対する不安を解消するためには、施設や多様なサービスの充実を図るために民間業者と行政に連携を取り、地域の現状に対応していくよう要望しました。

委員全員賛成で認定

保険事業勘定の歳入決算額13億383万円に対し、歳出決算額12億3214万円です。

歳出は保険給付費として在宅介護サービス給付費2億7800万円・施設介護サービス給付費5億9071万円・地域密着型介護サービス給付費8397万円などです。

介護サービス事業勘定は5557万円、訪問介護事業では、医師の指示書により看護師と理学療法士が二人一組で訪問サ



健康が1番じゃ（デイサービスあくた）

高千穂小学校

を調査

委員会では、町内の小中学校の現状調査として、高千穂小学校を訪問しました。

新校舎建設現場を視察し、建物や各施設の配置、グラウンドと体育館建設など、新たな整備計画を伺いました。

教育の重点目標

竹内校長より、教育目標は「たくましく、心豊かで、自ら考え行動する児童を育成する」こととあり、

- ①更なる学力向上。
- ②心豊かで思いやりのある児童を育成する教育活動の推進。
- ③たくましい児童を育成する体育・食育・健康教育の推進。
- ④家庭や地域との連携強化

委員会の意見

校舎建設中には学校行事・教育指導などの面で



意見交換したばい（高千穂小学校）

介護施設の実態調査

（下川登3施設と社協）

苦慮されると思われるので、行政は様々な要望に柔軟に対応し、将来の学校配置による多面的な利便性から、西側の土地買収により、使い勝手の良い施設配置を行うように要望しました。

委員会では、今後も町内の小中学校の現状調査を行います。

デイサービスセンター「ふじ」は去年の10月にオープンし、職員は5人で、収容人数は最大15人です。

施設の特徴は、機能訓練があり、車いす対応の浴室や食事もあります。

「ふじ」は去年の12月で、職員は4人、利用者は6月現在で26人です。

半日型で浴室や食事はなく、物理療法と機能向上訓練を取り入れて、在宅生活を長く続けられることを目標にしています。

デイサービス「雲海」は、オープンした去年の2月で、職員は常勤と非常勤を合わせて12人です。

利用者は6月現在で33人で、生きがいデイサービス・サテライト事業に取り組んでおり、ウォーキングやアロマオイルマッサージも取り入れ、浴室と食事もあります。

委員会の意見

本町も高齢化に伴い、利用者が増加すると予想され、現在は民間事業所の参入で利用者のニーズにあった施設が増え、委員会としても感謝します。今後は在宅サービスや介護予防の充実と施設整備など、高齢者が安心して生活できる環境づくりに取り組むことが重要です。

高千穂町社会福祉協議会は、デイサービス・ホームヘルパー・ケアマネ

一般質問

しんから聞くばい!!

町長に7人の質問

一般質問は議員の日常活動や考え方に基つき、町長もしくは教育委員長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分
一問一答方式で町長等の基本方針をたずねるもので町政全般について自由な質問が許された議員の権利です。

本町の平成23年定例議会の平均質問者数は7人で、県内の町村議会の中では一般質問が多く、活発な議論をしています。

議会だよりは、紙面が限られているので原稿は1人600字以内に制限しています。
町民のみなさんの傍聴をお待ちしています。



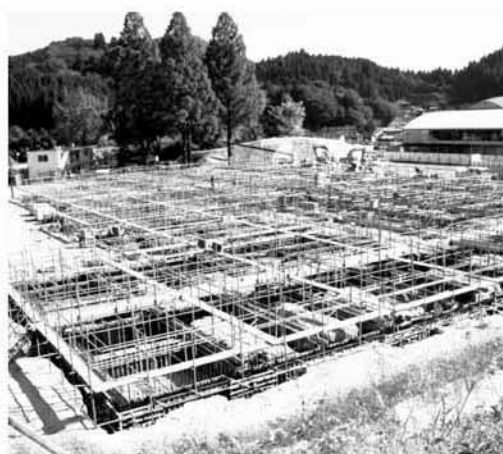
谷川秀憲議員

問 悲願であった高千穂小学校の建設工事が始まり、完成までの2年余り運動場の使用ができなく、ソフトボール部、サッカー部など屋外で競技を行うスポーツ少年団は、練習場の確保に苦慮している。

無料代替え地の確保及び学校教育の中でのスポーツ少年団活動の位置付けについて、本町の教育方針を問う。

教育長 練習場については、総合運動公園の指定管理者と協議し、サブグラウンドを確保していただくことで合意している。

位置付けについては、育成会による児童期の少年の発達を図るものとして、生涯スポーツの一環と位置付けられており、学校教育と直接的な繋がりは無いと解釈している。



グラウンドがつかえんばい（高千穂小）

問 どうする廃校跡地利用は

小規模校の統廃合については、地元関係者の理解で4校が廃校となり、管理については、5年間の期限付きで地元の活性化協議会に委ねられているが、今後の利用方法の計画は立てられているのか。

教育長 現在は活性化協議会で使用方法についても模索されているところであり、何か良い提案があればと期待しているところである。

教育長 よい提案を期待

代替え運動場の無料化を
サブグラウンドを確保



飯干清喜議員

町有地購入の理由は

町長 土地が有効に利用できる

大橋駐車場店舗跡購入の理由と今後の対策について問う。

問 宗教法人が購入するという地権者（町外）の話をどの程度確認されたか。

町長 地権者の社会的評価を判断した。宗教法人に確認はしていない。

問 同じことが他の場所でも起きた場合、全部対処できるのか。

町長 改修後、フォレストピアツーリズム事務所の予定だが、以

町長 今回のような事例が次々に起こった場合には、その都度的に判断していく。

問 町として歓迎できない宗教、そうでない宗教の区別がつけられるのか。

町長 基本的に宗教法人を良くし悪しで判断はできない。

問 改修後、フォレストピアツーリズム事務所の予定だが、以

町長 今回のような事例が次々に起こった場合には、その都度的に判断していく。

前から関係者以外の町民になじみの薄い事業である。

町長 町民に投資の還元ができるのか。

町長 現在、観光協会で2人の職員が担当している。

修学旅行の立ち寄りや民泊希望者の増加など、



佐藤久生議員

国見ヶ丘は高千穂の重要な観光地の一つである。古事記編さん1300年記念で、県を含め全国に大々的に観光宣伝を行っている。

メインの高千穂峡では、ボートに乗るため、待ち時間が2〜3時間は当たり前のようになっている。この待ち時間を利用し

て、国見ヶ丘へ観光に訪れる人は多い。しかし、国見ヶ丘は、盆までに草刈りは行われず、草は伸び放題で丘は歩けず、クヌギが伸びて見晴らしも悪く、以前の雲海の国見ヶ丘のイメージは全く無くなっている。そこで、次のことについて問う。

国見ヶ丘公園の整備を

町長 来年度から進める

問 年に何回の草刈りを行っているか。

町長 年2回実施しているが、今回は第1回目を9月1日に実施した。

問 見晴らしを良くするため、支障木の撤去はできないか。



すばらしい眺めじゃのお〜（国見ヶ丘の雲海）

町長 国定公園第2種特別地域内であるため、伐採は厳しく制限されているが、県と協議しながら来年度予算措置を行い、整備を進めていく。

問 私用地の支障木はほとんどがクヌギである。

町長 しいたけ原木として補償金などの助成はできないか。

町長 伐採許可が下りれば、地権者の意見を伺いながら検討する。

問 現在の町有地の拡大はできないか。

町長 町有地として広く管理する意義は大きいので前向きに検討する。

問 高千穂は自然が売りの一つである観光地だが、今後の対応策は。

町長 本年策定する観光マスタープランの実施計画の中で検討する。



大橋駐車場前の購入地

一般質問



だいぶん得するばい（商品券）

問 近年の車社会では町民の生活圏も延岡や熊本など広域に及んでおり、止めることは

町長 23年度は口蹄疫復興事業としてプレミアム率15%の商品券（850円で1000円券1枚）が町商工会より発行された。この時の事業実績については換金額が1億1471万6000円で、換金率98・5%と好評であった。



坂本弘明議員

商品券発行の支援を

町長 商工会と更に協議を行う

難しい。

本町の景気・経済浮揚策として、財源の厳しい中ではあるが、商品券の発行が継続できるように支援できないか。

町長 商品券発行事業については夏・冬の商戦に合わせ、7月と12月に発行しており、町及び商工会がそれぞれ2分の1を負担している。

財源は口蹄疫復興中小企業応援ファンドから6



堀川容佑議員

問

町内には、建設後数十年経過した古い橋があるが、今後修繕が必要な箇所もあるのではないかと懸念される。

町長 これまで点検、調査をされた経緯があるが、町道橋の数や老朽橋の状況は、平成21年度に

町道橋については、平成21年度に

道路橋の長寿命化修繕計画は

町長 今年度122橋修繕計画を策定

専門業者に委託し、橋梁点検を実施した。

本町の管理する町道橋は140橋あり、建設後50年を経過した橋梁は23橋ある。

平成22年度に緊急的な対策として6本の橋梁を補修している。

問 防災、減災の観点から橋の耐震化



修繕がおおごつじやの（芝原～草ノ原間）

の落下防止対策などについても盛り込む。

問 道路や橋の修繕活性化にもつながり、積極的な推進が望まれる。今後の取り組みは。

町長 長寿命化修繕計画に基づいて、適正な維持管理や修繕、架け替えに努力する。

問 山林近くの橋については、木材を利用した木橋も今後検討してはどうか。

町長 木橋は、今後研究していきたい。

一般質問



富高友子議員

3・5歳児、就学前、小学校の耳鼻科検診は

町長 25年度から導入を検討

問 本町では、子どもが生まれて中学校を卒業するまで一度も耳鼻科検診がない。

鼻炎の児童も多く、口呼吸するため、発音にまで影響を与えている事例もある。

3・5歳児、就学前、学校の検診に耳鼻科検診の取り組みはできないか。

町長 幼少年期における耳鼻科検診は大変重要と認識している。今後、3・5歳児は専用の機材を使用した聴力検査を、就学前、学校検診には町病院の耳鼻科嘱託医に委託することも含めて、25年度から導入を検討していきたい。

問 特定健診は、生活習慣病になる前に異常を発見し、予防することを目的とした検査で、早期に芽を摘み取ることで健康寿命の延伸と医療費の削減を図ることである。

30〜74歳が対象であるが、国保、社保の20〜30

歳の健診はできないか。

町長 受診率65%を目標に、もれ健診も実施しているが、30代の受診率は15%と低く、40〜74歳は52・5%となっている。

若いうちから健康管理をするために、対象を20代の若者まで拡大し早期予防に努めるほか、各公民館へ出向き、説明会を実施する。

社保加入者については今後検討する。

神代川の再生を

町長 関係機関と協議を進める

かつての神代川は、自然豊かで水遊びに興じる子供たちや魚影が見られ、天の真名井の泉からは清い湧水があった。

問 昭和47年の河川災害関連工事において治水能力は向上したが、コンクリート三面張りの河川となり、昔の面影が無く、去年より再生検討委員会で

協議されているが、町として今後どのように進めていくかを問う。

町長 地区への説明や、進行状況などが途絶えており、町も県と連絡を取り合い、早急に検討委員会を開いたらどうか。

問

改修イメージ図や水質、水量調査、小学生へのアンケート調査結果などはどうなっているか。

町長 「天の真名井」の湧水については、白水湧水を使用している。水道水については、環境再生の専門家が調査中であり、イメージ図やアンケート調査は終了している。



水害はねえなったけど（天真名井前の神代川）



昭和 38 年当時の矢野商店前



左から初代卯七さん 妻タメさん
妻ミスさん 二代目恵次さん(昭和45年)



現在：三代目朝英さん・妻恒子さん・店員さん
恵次さん

シリーズ 走舗

● 矢野商店 ●

初代の矢野卯七^{うしち}さんは明治30年に福岡で生まれ、妻のタメさんと延岡へ移られ、行商を始められました。

しかし、商売がうまくいかず昭和12年に子ども二人と少しの荷物をリヤカーに積んで岩戸の地へ移られ、笹の戸上町で開業されました。

商売は、村の中をリヤカーで回り、天秤棒に商品載せて行うカツギ行商をして、地域の人からは青物屋（青果物）と呼ばれ親しまれていました。当時は土呂久鉾山が最盛期でも多く、ドイツ人の技師が馬に乗って行き来しており、岩戸の街には活気がありました。

昭和59年には父と恵次さんが植えられた杉の木で家を新築されました。現在、三代目の朝英さんは妻の恒子さんと共に店を切り盛りされ、外販

長男の恵次さんは昭和54年に二代目となられ、妻のミスさんと商売に専念されました。

当時、車での外販を県内でも早く始められ、2台の外販車で岩戸全域を販売されました。

どうぞ傍聴席へ

次の定例議会は**12月3日**開会予定です。

傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL73-1219
(議会事務局直通)

編集後記

宮崎県は21年連続で杉素材の生産量日本一である。近年、林業機械の進歩が杉素材の生産量を爆発的に高めてきた。

今年、7000円代まで落ち込んでいた1立方メートルの単価も九州北部豪雨災害の影響や業者毎の出荷調整により、1万円台まで回復したが、この値も保証されているものではない。林業に限らず近代化され、あらゆる労働は楽にはなつたが、収入は伸びていない。今や、生産調整という言葉は企業や農業だけでなく林業の分野にまで及ぼっている。

(S・弘)

発行責任者	
議長	富 健一郎
議会報編集委員会	
委員長	奈 須 克 喜
副委員長	佐 藤 久 生
委員	富 高 友 子
委員	戸 高 清 次
委員	坂 本 弘 明
委員	馬 原 英 治